

相談機関 -医療-

①もの忘れ外来、②認知症(疾患)医療センター、③認知症サポート医などの種類があり、認知症の相談受診ができます。※予約が必要な場合があります。

かかりつけ医がいる人は、紹介状が発行される場合もありますので、まずはかかりつけ医に相談してください。

1 もの忘れ外来 認知症について気軽に相談受診ができ、認知症サポート医のいる医療機関です。さまざまな診療科があり、受診しやすいところを選ぶことができます。

	医療機関名	住所	電話番号
遠賀郡	遠賀中間医師会おかがき病院	岡垣町大字手野145	093-282-0181
	高倉クリニック	岡垣町公園通り1-7-1	093-282-0081
	堤病院	岡垣町鍋田2-1-1	093-282-1234
北九州市 若松区	あかさきホームクリニック	赤崎町10-1	093-751-3356
	北崎医院	白山1-2-21	093-761-4696
	こが医院	下原町4-11	093-751-6200
	末吉脳神経外科医院	高須東4-3-34	093-742-3221
	手島内科医院	今光1-10-5	093-791-0909
	村井クリニック	鴨生田1-1-30	093-791-0660
	山内クリニック	下原町9-10	093-771-0155
	若戸病院	小敷ひびきの1-10-1	093-742-2000
北九州市 八幡西区	有吉クリニック	菅原町5-1	093-645-1310
	永犬丸むらかみ内科クリニック	八枝3-12-3	093-692-0085
	小田内科消化器科医院	引野1-2-30	093-641-0808
	折尾病院	本城3-26-18	093-691-4366
	鍵山医院	光明1-8-8	093-691-2741
	神原クリニック	西神原町9-19	093-642-8088
	くろさきファミリークリニック	幸神2-1-26	093-632-8637
	権頭クリニック	永犬丸2-10-10	093-692-5557
	櫻井医院	折尾4-2-10	093-691-0528
	産業医科大学病院	医生ヶ丘1-1	093-603-1611
	数住医院	木屋瀬3-16-15	093-617-1034
	高砂脳神経外科クリニック	鉄竜1-3-2	093-644-0113
	谷内科クリニック	西神原町1-27	093-621-5058
	千代クリニック	千代1-7-3	093-614-5558
	泌尿器科皮膚科上野医院	相生町6-19	093-621-1082
	ファミリーヘルスクリニック北九州	本城1-22-6	093-647-0970
	もりぞの内科	上上津役2-14-17	093-611-5335
八幡厚生病院	里中3-12-12	093-691-3344	

※北九州市の医療機関は北九州市ホームページより一部抜粋 令和8年4月時点

2 認知症(疾患)医療センター 福岡県や北九州市が指定する認知症専門医療機関です。専門医相談や診断、初期対応などを行います。

医療機関名	住所	電話番号
宗像病院 福岡県認知症医療センター	宗像市光岡130番地	0940-36-2775
産業医科大学病院 認知症疾患医療センター	北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1	093-603-1611
たつのおとしごクリニック 認知症疾患医療センター	北九州市八幡東区大蔵3-2-1	093-652-5210

※福岡県ホームページより一部抜粋 令和8年4月時点

3 認知症サポート医(町内) 認知症について気軽に相談受診ができます。かかりつけ医への助言や、専門医療機関・地域包括支援センターなどと連携支援を行います。

医療機関名	住所	電話番号
須子医院	芦屋町山鹿10-24	093-223-0126

芦屋町地域包括支援センター作成(令和8年度4月改訂)

芦屋町認知症あんしんガイド

認知症・・・単なるもの忘れとは違い、日常生活に支障をきたす脳の病気です。本人や周囲の人が、生活のちょっとした変化に気づくことが大切で、他の病気と同様に**早期発見・早期治療**が重要です。



早期発見による4つのメリット

- 1** 治療で症状の改善が期待できる場合があります。
- 2** 適切な治療やサポートによって、進行を緩やかにできる場合があります。
- 3** 本人・家族が今後の治療方針を決めたり、利用できるサービスを調べるなど「認知症に向き合うための準備」を整えることができます。
- 4** 診断を受けることで、周囲の理解や支援を受けやすくなり、家族や周囲の人も症状に合わせた支援をすることができます。

『大友式認知症予測テスト』を試してみましょう

認知症の初期症状などを、自分や家族で簡単にチェックできます。(認知症予防財団ホームページより抜粋)

質問項目	ほとんどない	ときどきある	頻繁にある
同じ話を無意識に繰り返す	0点	1点	2点
知っている人の名前が思い出せない	0点	1点	2点
物のしまい場所を忘れる	0点	1点	2点
漢字を忘れる	0点	1点	2点
今しようとしていることを忘れる	0点	1点	2点
器具の説明書を読むのを面倒がる	0点	1点	2点
理由もないのに気がふさぐ	0点	1点	2点
身だしなみに無関心である	0点	1点	2点
外出をおっくうがる	0点	1点	2点
物(財布など)が見当たらないことを他人のせいにする	0点	1点	2点

結果

0~8点 問題なし もの忘れも老化現象の範囲内です。疲労やストレスによる場合もあります。8点に近い時は、気分の違う時に再チェックをしてみてください。	9~13点 要注意 認知症予防策を生活に取り入れてみましょう。家族に再チェックしてもらったり、数カ月単位で間隔を置き、再チェックをしてみてください。	14~20点 要診断 認知症の初期症状が出ている可能性があります。家族にも再チェックをもらい、結果が同じなら医療機関の受診をおすすめします。
---	---	---

地域包括支援センターでは、医療や福祉の専門職である認知症地域支援推進員などを配置して、介護や認知症に関するさまざまな相談を受け付けています。





医療や介護につながる事が難しい場合など、必要に応じて「認知症初期集中支援チーム」などと連携して支援を行うこともできます。

心配なことや困りごとなどがありましたら、気軽に相談してください。

問い合わせ 芦屋町地域包括支援センター ☎093-223-3581

～認知症の進行と症状・対応の例～

認知症は少しずつ進行するため、症状や必要な対応が変化します。
認知症の進み方を理解し、症状に合わせた対応を心得ておくことが大切です。

	軽度		中等度	重度	
認知症の進行 (右にいくほど時間が経過し、 進行している状態)	軽度認知障害(MCI)・ 認知症の疑い	日常生活は自立	誰かの見守りがあれば 日常生活は自立	日常生活に手助け・ 介護が必要	常に介護が必要
本人の様子 症状の例	<ul style="list-style-type: none"> ●物の忘れの自覚がある。 ●「あれ」「それ」「あの人」が増え、人の名前などが出てこなくなる。 ●今までやっていたことの段取りが悪くなり、時間がかかるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●同じことを何度も話し、何度も聞く。 ●探し物が増える。 ●怒りやすくなったり、うつ傾向になったりする。 ●物事への興味関心が薄れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●日にちや曜日、季節や場所がわからなくなる。 ●お金や薬の管理ができなくなる。 ●感情の起伏が激しくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●食事や着替え、トイレがうまくできなくなる。 ●一人で外出して道に迷うことがある。 ●いつ、どこで、何をしたかなどの出来事を忘れる。 ●親しい人がわからなくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●歩行や食事など、日常生活に必要な動作ができなくなる。 ●排泄の失敗が増える。 ●会話がうまくできなくなる。 ●言葉が減り、表情が乏しくなる。 ●日中眠っていることが増える。
家族など介護者の 対応や接し方の例	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症を身近な病気として関心を持つ。 ●生活の改善や趣味など、交流や活動を働きかける。 ●かかりつけ医や地域包括支援センターに相談し、必要時に介護保険の認定申請をする。 ●本人の不安な気持ちに寄り添う。早期受診をすすめ、できれば受診に付き添う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●困った時は、ケアマネジャーや地域包括支援センターに相談する。 ●本人ができることは見守り、失敗を責めず不安をやわらげる。 ●今後の生活について、本人の希望を聞いておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●介護サービスをうまく取り入れ、介護者の健康にも配慮する。 ●家族や地域で見守り支援をする人を増やす。 ●火の不始末や、道に迷った際の安全対策を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●表情や行動などから本人の気持ちを汲み取り、コミュニケーションをとるよう心掛ける。 ●施設入所の場合においても、定期的に会いに行くなど、本人とふれあう時間を大切にする。 ●合併症などを起こしやすい状態であることを理解する。 	



サポート体制

予防

認知症を予防する生活を
送みましょう

- 介護予防教室(地域交流サロン/自治区公民館体操/ゲンキはつらつサポーター教室/脳力アップ体操教室/いきいき昼食会)
- 健康診断 など

相談

かかりつけ医や地域包括支援
センターに相談しましょう

- 地域包括支援センター
- かかりつけ医
- 認知症サポート医/認知症専門医
- ケアマネジャー など



医療

かかりつけ医を中心に、認知
症専門医、歯科医、薬局など
医療体制を整えましょう

- かかりつけ医
- 認知症サポート医/認知症専門医
- 認知症初期集中支援チーム など

介護

介護サービスを利用
しましょう

- ケアマネジャー
- 在宅で受ける介護サービス(訪問系/通所系) など



住まい

安心安全な住まい環境に
しましょう

- 住宅改修
- 福祉用具貸与
- 施設入所 など



生活支援

- 高齢者等 GPS 端末機等導入費用助成事業
- 認知症高齢者等見守りシール交付事業
- 遠賀中間地区はいかい高齢者等 SOS ネットワークシステム
- ふくおか防災ナビ・まもるくん
- オレンジカフェ/認知症家族の会あしや
- 民生委員・児童委員
- 認知症サポーター
- 成年後見制度 など